

◎7月上旬の水温・塩分・透明度の状況

水温：表層「**平年並み**」・底層「**やや高め**」、塩分：表層「**やや高め**」・底層「**やや高め**」、透明度：「**やや高め**」

●巾着網

○マイワシは平年値を大きく上回る漁獲であった（図1）

●小型底びき網

石桁網（中部標本組合）

表示基準：20%以内の増減を同程度＝、20%以上の増減を増加↑、減少↓として示した

魚種名	漁獲の状況			図の番号
	平年値と比較して	昨年と比較して	先月と比較して	
クマエビ	多い ↑	増加 ↑	同程度 =	2
シタ類	多い ↑	減少 ↓	減少 ↓	3
ヒラメ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	4
メイトガレイ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	5
マゴチ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	6
マダコ	少ない ↓	減少 ↓	増加 ↑	7
ガザミ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	8

※アカガイは麻痺性貝毒が検出されたため、2月22日より出荷の自主規制を行っています。トリガイは7月19日に規制が解除されました。

図1

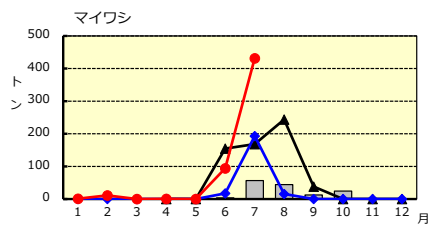


図2

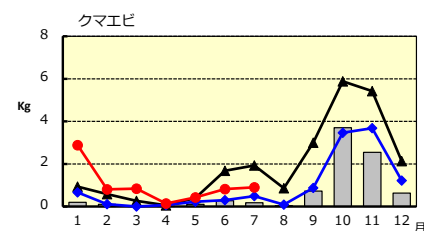


図3

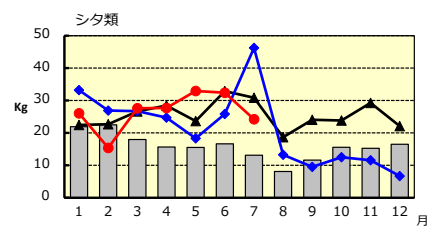


図4

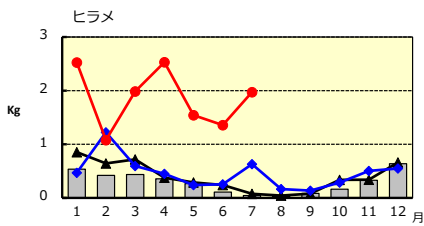


図5

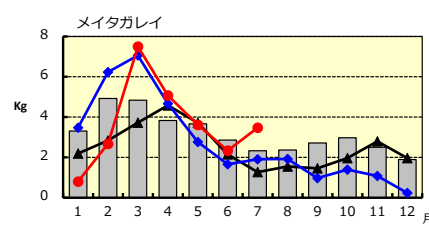


図6

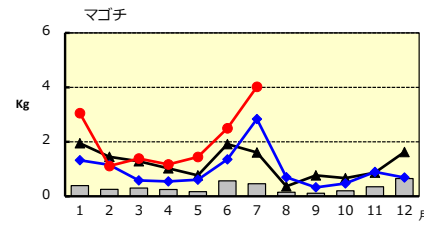


図7

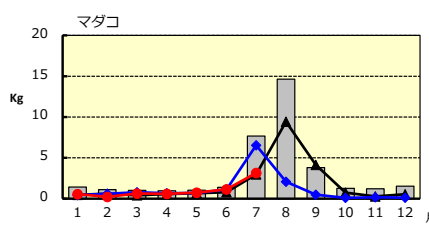


図8

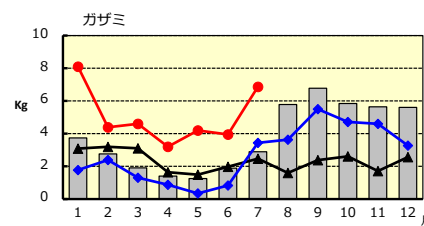


図1は月漁獲量（トン）を示し、その他の図は1日1隻当たりの漁獲量（kg）を示す

■ 平年値

● 令和元年

◆ 平成30年

▲ 平成29年

板びき網（中部標本組合）

表示基準：20%以内の増減を同程度＝、20%以上の増減を増加↑、減少↓として示した

魚種名	漁獲の状況			図の番号
	平年値と比較して	昨年と比較して	先月と比較して	
スズキ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	9
タチウオ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	10
マダイ	多い ↑	増加 ↑	増加 ↑	11
シログチ	少ない ↓	同程度 ＝	増加 ↑	12
イボダイ	少ない ↓	減少 ↓	同程度 ＝	13
コウイカ類	少ない ↓	減少 ↓	減少 ↓	14

板びき網（南部標本組合）

表示基準：20%以内の増減を同程度＝、20%以上の増減を増加↑、減少↓として示した

魚種名	漁獲の状況			図の番号
	平年値と比較して	昨年と比較して	先月と比較して	
小エビ類	少ない ↓	減少 ↓	同程度 ＝	15
メイタガレイ	少ない ↓	同程度 ＝	同程度 ＝	16
ハモ	多い ↑	同程度 ＝	増加 ↑	17
マダコ	少ない ↓	減少 ↓	同程度 ＝	18

図 9

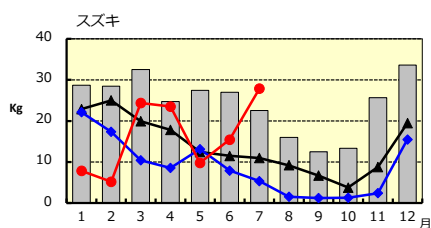


図 10

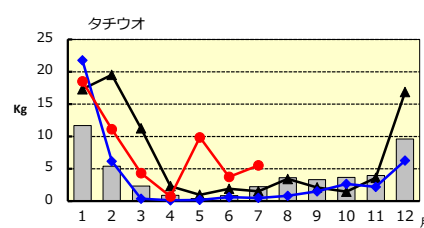


図 11

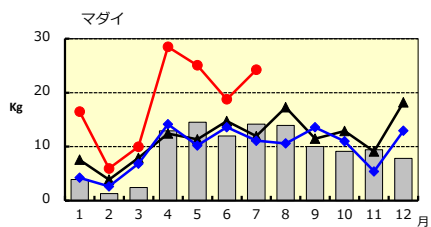


図 12

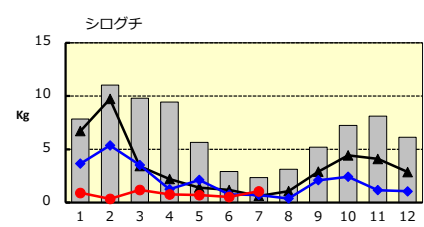


図 13

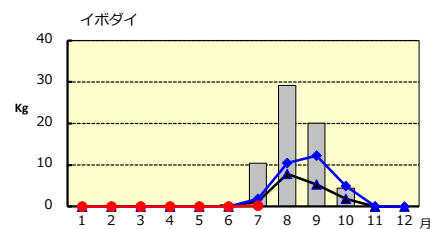


図 14

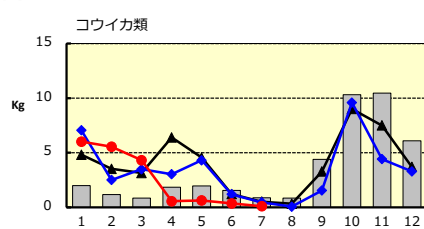


図 15

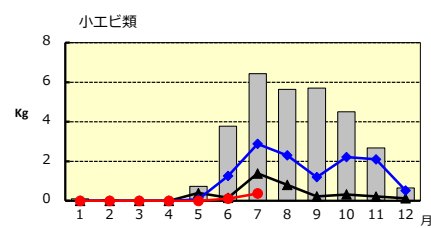


図 16

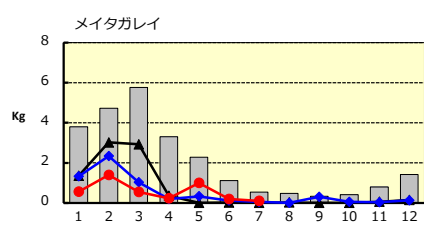


図 17

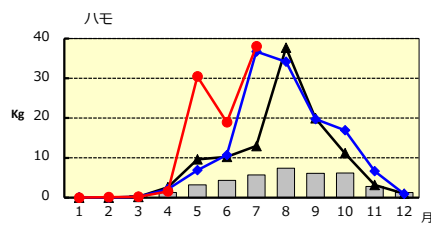
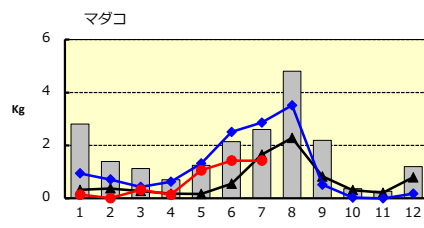


図 18



1日1隻当たりの漁獲量 (kg) を示す



平年値



令和元年



平成30年



平成29年